

21世纪文明研究セミナー 分野:B防災

平成21年2月13日(金曜日) 16:00~17:30 人と防災未来センター ひと未来館

持続可能な社会 と防災・減災活動

アジア防災センター(ADRC)

所長 鈴木弘二

1

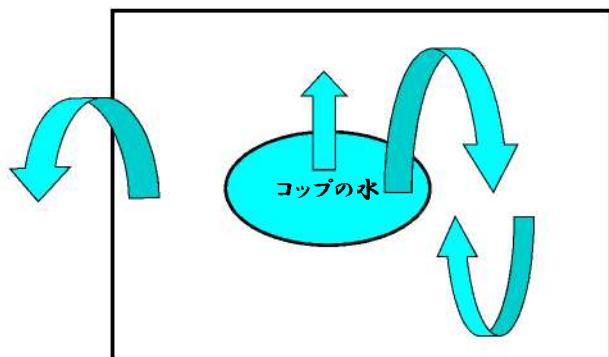
持続可能な…

1. 「我々共有の未来」(Our common future)
(1987年 環境と開発に関する世界委員会)
持続可能な開発とは、将来世代のニーズを満たす能力を損なう
ことが無いような形で、現在の世代のニーズも満足させるような開
発
2. 新世界環境保全戦略(Caring for the earth)
(1991年 国際自然保護連合、国連環境計画、世界自然保
護基金)
持続可能な開発の定義
人々の生活の質的改善を、その生活支持基盤となっている各生
態の収容能力限度内で生活しつつ達成すること

2

考える範囲(系)と対象

<閉じた空間>



3

アジアの経済発展(1)



アジアの経済発展(2)



災害による経済損失 (1960 - 2004)

国名	発生年	災害種別	被害額 (MnUSD)	GDP (MnUSD)	対GDP被害
アルメニア	1988	地震	20,500	2,257	908%
モンゴル	1996	森林火災	1,713	893	192%
モンゴル	2000	寒波	875	907	96%
モルジブ	2004	津波	470	753	62%
ラオ	1992	台風	302	1,128	27%
ネパール	1987	洪水	728	2,851	26%
グルジア	1990	地震	1,700	7,738	22%

Note 1. Source: CRED

2. GDP is that of before year of the disaster. Armenia's GDP is that of 1990.

災害と貧困(1)



7

災害と貧困(2)



8

災害と貧困(3)



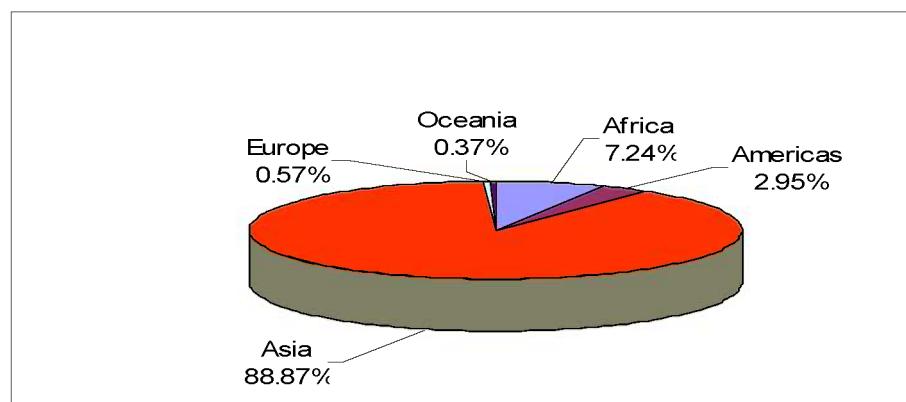
9

経済・社会の持続性と災害

- 災害は、経済・社会の発展の妨げとなり、貧困を固定化・悪化させる。
- 途上国ほど、災害による経済・社会への被害は甚大になる。
- 途上国の不安定化は、先進諸国の不安定要因となる。

10

被災者の分布 (1975-2005)



Note 1. Source: CRED EM-DAT

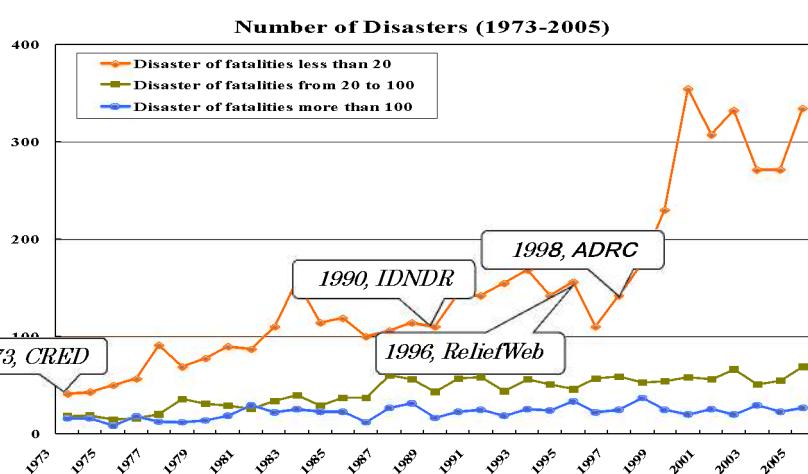
2. Affected People include killed, missing, injured, as well as the people who lost their houses.

Q. 90% of disaster victims are in Asia region. Why Asia?

①Geographical condition, ②Rapid increase of population, Rapid urbanization ③Poverty

11

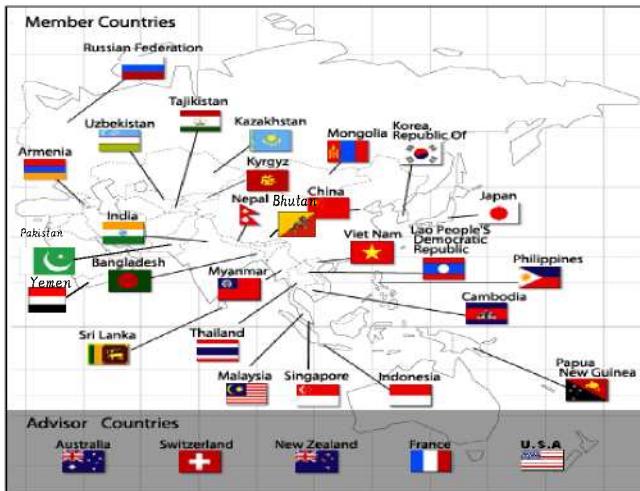
規模別の災害発生件数



12

Data Source: Center for Research on the Epidemiology of Disasters (CRED), Belgium

ADRC 関係国



1998年神戸に設立。27 メンバー国、5 アドバイザー国

13

日本からアジアへ

災害の種別が類似
地理的、文化的に近接
きめ細かい国際協力が可能
日本の技術、経験、制度



アジアに対する国際防災協力の拠点

14

コミュニティの強化

政治、行政の制度 ⇒ 即効性

ダム、堤防 ⇒ 予算制約

早期警報 ⇒ 受けての認識

裨益国のモラール ⇒ 賄賂、非効率



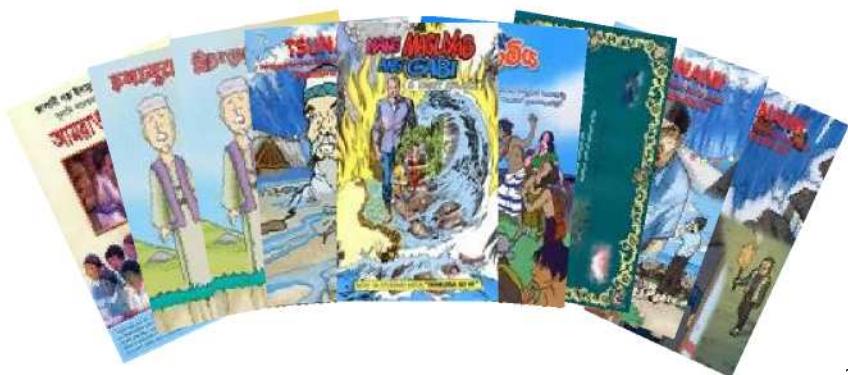
住民、コミュニティに直接アプローチ

15

日本の昔話を津波教材として発信

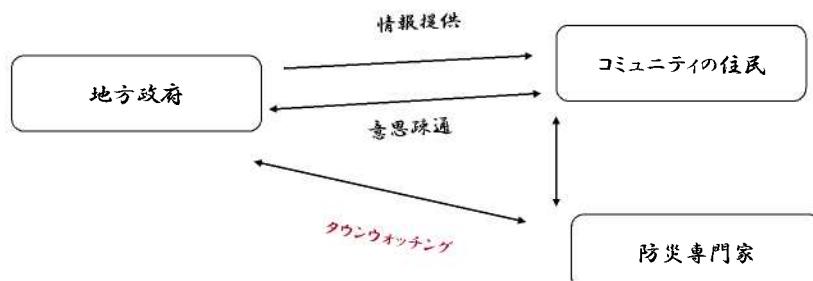
稻村の火

9言語(英語、フランス語、バングラデシュ、インド、インドネシア、マレーシア、ネパール、フィリピン、スリランカ)



16

コミュニティで防災マップ作り



- ・地域住民と一緒にやって地域防災マップを作る
- ・自治体の防災政策に地域住民の意見を反映させる
- ・地域住民、自治体、防災専門家の間で防災に関する意識を共有する。

17

自分たちの手で防災マップを作ってみる

Step 1

コミュニティ住民、自治体職員、専門家が調査をし、危険なところなどを確認する。



Step 2

ステップ1で確認したことを、実際に地図に書き込んでみる。防災マップつくり



Step 3

防災マップを使いながら関係者でその解決策を話し合う。

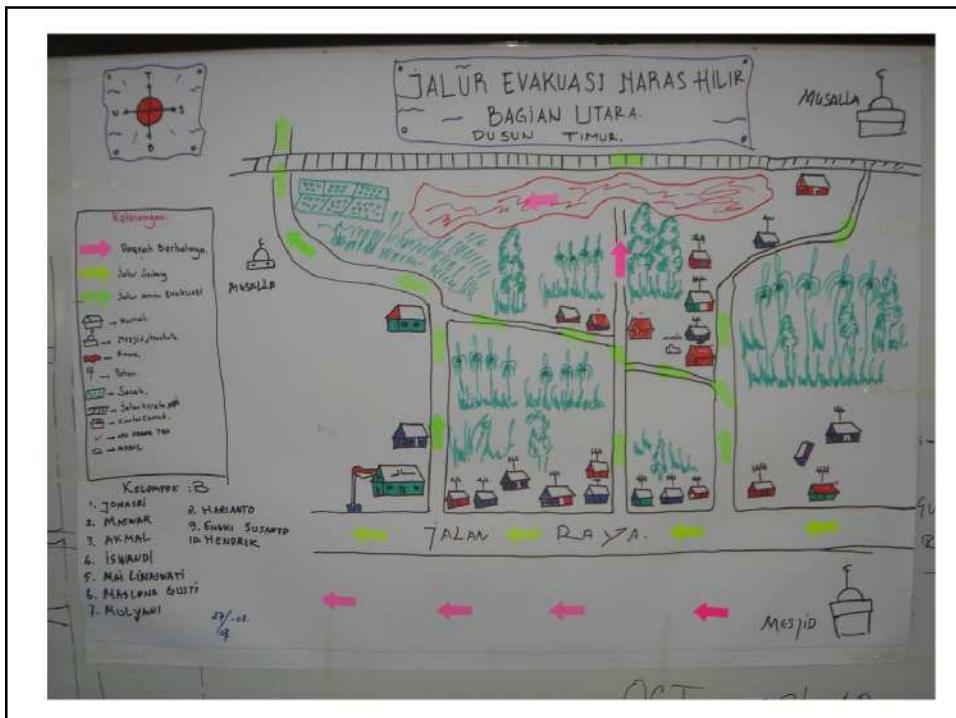














宇宙衛星を防災に利用

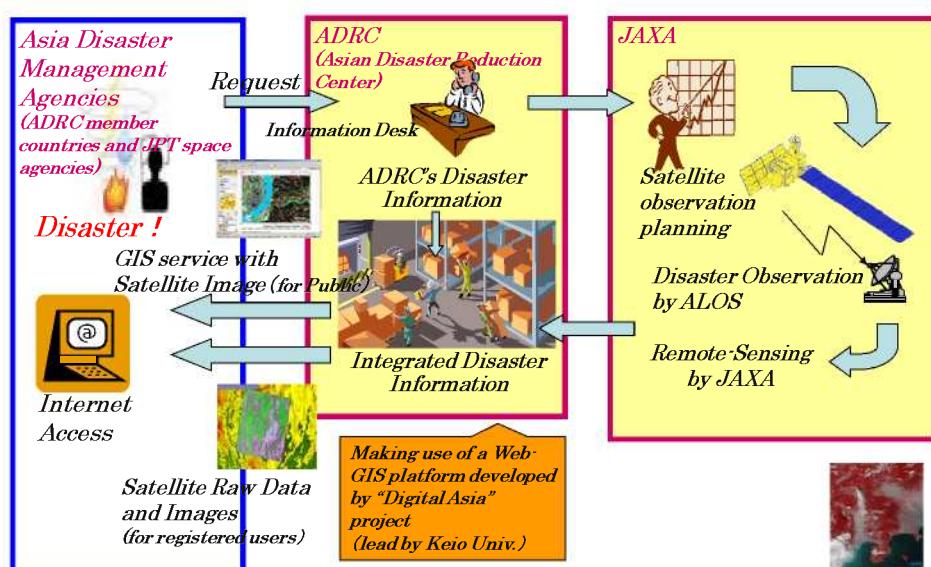
広域的な災害は全体のイメージ、被害がつかみにくい道がない、飛行機がないなどで現地の調査ができない
災害発生後、いち早く情報を入手できる



宇宙衛星による画像を提供
SENTINEL ASIA (アジアの災害の見張り)

31

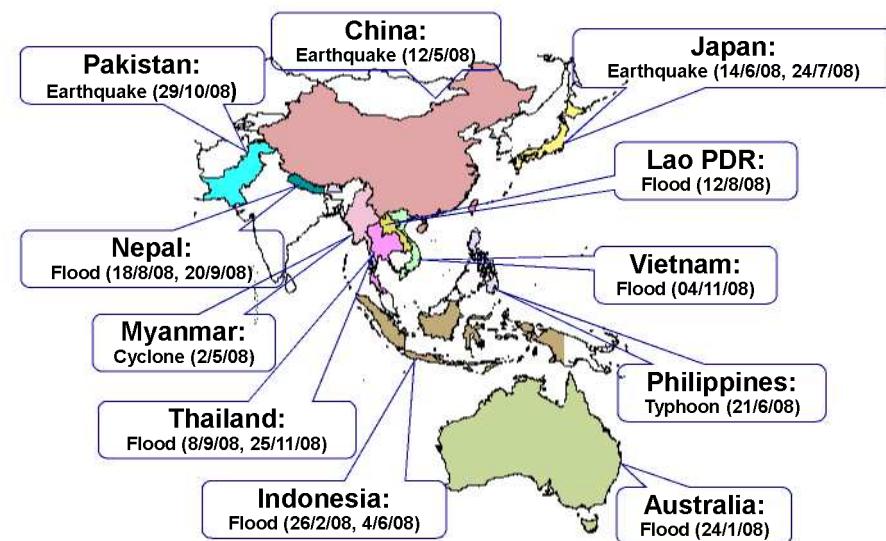
手続きの流れ



宇宙衛星で災害現場の画像を提供



緊急観測の発動 (January 2008 -)

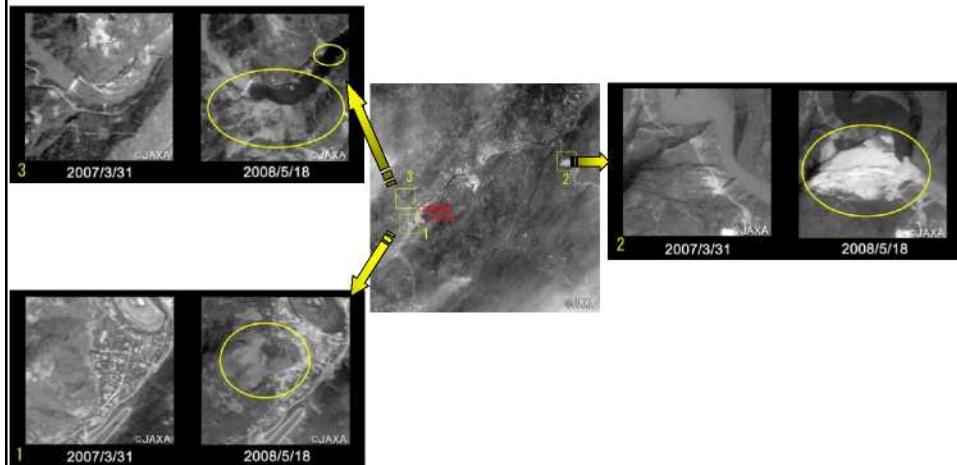


11ヶ国が15回の緊急観測を要請

34

災害被災地の衛星画像の事例

(中国四川大地震, May 12, 2008)



地すべり、堰止め湖、橋や道の崩壊が確認できる。

35